個人の市場価値の向上と生涯成長を支える

# NEWS LETTER

EAT
Education for Asian Talents

株式会社人財アジア 定期ニュースレター

vol.26
2023 年 03 月

□ 岡村の最近の注目ニュース　□ ビジネス予備校近況リポート　□ B-EAT 会活動報告　□ What's up?

## いつ始めても
## 遅すぎることはない。

**WBC 優勝は、日本に熱狂を巻き起こした。**
**躍動する若手を見て、あらためて日本の次世代は明るいと確信した。**
**気負いの少ない自然体の姿勢が、しなやかな強さを生み出す。**
**大谷選手が決勝戦開始前に語った**
**「今日一日だけは、彼ら（米国スター選手）への憧れを捨てて、**
**勝つことだけを考えていきましょう。さぁ、いこう！」という言葉の的確さにも、**
**それを素直に受け入れる柔軟性や目標に邁進する力強さにも、とても驚かされる。**
**私の世代が２０代に米国勤務した頃、肩の力を抜こうとしてもうまく出来なかったのとは大きな違いだ。**

## 変わらない、変えられないと自虐的な日本にも、確実に変化の芽が生まれ育ち始めている。

**旧来型の権威だけを見ていると暗さばかりに目が向くが、その視点自体がもはや過去のものだ。**

高校では、資産運用やデータ分析が通常科目に取り入れられる。根が真面目な日本人だから、思った以上の早さで実践的な能力を高めていくことだろう。

コロナで通学できなかった全国の大学生に向けて“次世代キャリアとお金のオンライン講座”を始めて早３年経過する。大学生が、これほど熱心に株式について語ることなどかつては考えられなかった。これからは米国だ！といってさっと留学先を探してきてしまう機動力もスゴイ。

社会人に目を転じると、ＥＡＴ卒業生からも、気がつくと転職しているケースが散見される。私に相談すると止められるので、事後報告と決めているようだ。私の祈りに反して失敗する者も出てこようが、きっとまた柔軟に次の挑戦先を見つけてくれるだろう。未知の世界は怖いが、一度変化を経験すると、自身がスキルや経験を意外としっかり有していることに気づく。時には異なる職種への挑戦が、仕事に共通する本質を学ぶチャンスになることもある。

大企業経営陣と話すと、人財流出への対策はまったなしとの危機感が強い。若手という外圧が、魅力的な環境を作り人財を惹きつける企業改革を促している。福利厚生の改善など小手先な対応も見えるが、業務の標準化とジョブ・ディスクリプションの明確化など個々人のプロ化を後押しする変革も始まった。かつて勤めた人財の積極的再雇用を PR する企業も目につく。もはや人財の循環は企業の繁栄に不可欠の仕組みになった。

ＥＡＴの講義で、伝統的日本企業人と典型的グローバル企業人の差異を議論したのを覚えているだろうか？人員および資金面での“裁量が少ない中でも粘り強く真面目にもっともベターな成果を出す”のが日本人の強さだ。ＳＤＧｓが“地球資源には制約アリ”宣言と捉えれば、世界は制約の中でベターな成果を求める日本的ゲームのルールに転じ始めている。追い風が吹き始めたのだ。もちろん楕円思考で、制約に縛られず最高の目標を定め逆算する BlueSkyThinking（青空のように制約なき思考）も兼ね備えておきたい。
そろそろ自虐的エセインテリはやめにしよう。自信を持って、守るべきものを守り、変えるものを変える。Be Positive！明るく力強く前進していこう。

本日ご多忙の中執筆くださった小西氏は、２５歳の若さで起業。様々な苦難にも明るく立ち向かい、しなやかに成長してきた、私の大好きな経営者だ。EAT 講師、かつ東京クラス一期の卒業生でもある。AI との付き合い方は今後の人生に大きな影響を与える。”自分の”答えを持っておくことが肝要と考える。

注 ) この隔月ニュースの内容をさらに充実させ、発信していきたいです。メールアドレス等の変更は総務企画までお知らせくださいね！　（EAT 代表　岡村 進）

# 時代の相転移
# ～今ほど面白い時代はない～

株式会社 Asian Bridge
代表取締役
小西　広恭　氏

足元を見れば、COVID-19でリーマンの轍を踏まないように実施した資金供給の影響でインフレ圧力、ナショナリズムの台頭など複雑な世界経済の状況です。

また、日本については本格的に少子高齢化が社会に影響を及ぼしはじめ、社会縮小という絶対命題と数十年に渡り向き合わなければいけない状況です。

それでも人類の歩みは止まることはなく、久しぶりに大きな変革が訪れてようとしています。

1995年のWindows95の登場とインターネット時代の到来でPCが一般化し、インターネットで世界中の国が繋がり、情報の在り方が変わりました。2008年のスマートフォン時代の到来で世界中の人々がリアルタイムに双方向で繋がる社会になり、様々なビジネスモデルが急速に変化しました。そして、それから約15年ぶりとも言える衝撃がChatGPTといったLLMによる対話型AIの登場です。

宇宙の相転移のように、世界そのもののルールが変わってしまうことがテクノロジーの世界では起こります。

今回のChatGPTも間違いなく久しぶりに訪れた相転移の1つで、これまでのルール自体を変えてしまう出来事だと思います。

面白いのはどの時代の衝撃も、技術革新がその瞬間に起きたというよりも、技術要素はすでに先行して存在しているのですが、それがあらゆる人に使える形になって世の中に提供されることにより、劇的な広がりを見せるという点です。

ChatGPTは人が普段行うような対話の形式で、各国の自然言語形式で質問し、回答してもらえる点です。これにより、「簡単に」「誰でも」使えるようになったことが素晴らしいです。

今後あらゆる人が対話型AIを通して、様々なホワイトカラーの仕事を代替していくでしょう。GAFAMもそれを見越して大量解雇をしているのではないかと思います。

ただ、これはある意味ずっと前から見通せた未来の姿でもあり、ITソリューションを都心と地方で手掛けている弊社でも、それを見越しての事業転換を数年前から始めています。

このホワイトカラー業務の代替は、少子高齢化する日本においては人手不足を解消するためにはある意味歓迎すべきことです。（それよりも解消しにくい人の手を必要とする労働力が地方の大きな課題）

対話型AIがすぐに活用される分野は執筆などのコンテンツの領域です。

もしかするとこの記事もChatGPTが書いているかもしれません？笑

現状ではブラウザ経由でインターネットを使うことが大多数だと思いますが、ブラウザは世界で公開されているWEBコンテンツ、特にテキストコンテンツを頼りに検索を実施します。そうすると、人よりも大量のコンテンツを吐き出せる対話型AIのコンテンツがあふれかえります。

対話型AIが作る情報を元に情報を得る、それにどんな意味があるのか？

AIは人間のように自己的に考える意思を持っているわけではないのであくまで学習データありきですが、人間も小さな頃からの経験は学習で判断、行動していることが多分にあります。時には間違えも交えて。

ChatGPTが米国の医師国家試験で合格ラインに達したそうです。それならもはやテストすること、記憶すること自体が無意味になります。

同じようなことが様々な仕事で起こります。これまで積み上げてきた経験が無意味になることもたくさん起こります。でも、もうそれは時代の相転移として受け止めて、諦めましょう 笑。

それよりも、冒頭でお話した世界情勢の問題だけでなく、人類の在り方を問うこのテーマも混在するこの時代だからこそ、解決すべきことがたくさんあります。

こういったツールの登場により、人はこれまで以上に、不確実な未来予測をして、まだ見たことのない未来を創造することにもっともっと時間が使えるようになります。そして、それこそが相転移が起きたこれからの時代の人類の役割なのではないでしょうか

## B-EAT　ビジネス予備校のOB/OGによる地域を超えた繋がり

3月10日(金)オンラインにて㈱三好不動産 執行役員堂脇様にご講演を頂きました。不動産市況動向から始まり、今後の経済動向、不安定な今後を生き残る“人財”の育成構想など、テーマは多岐に渡りました。
不動産会社として金融分野にもコミットし事業展開するご姿勢から、EATの“情熱を燃やし続ける”精神を思い起こしました。

文責：B-EAT福岡　幹事 執行 泰宏　（福岡クラス5期生）

## What s 'up?

趙 陽さん　株式会社NTTデータ
EATビジネス予備校　東京クラス7期生

地政学リスク、銀行の経営破綻、リスキリングの推進など、毎日想定外のことが起きているように見える。ものごとの観察にはじまって、本質となるものを抽象化して、行動の羅針盤を作り出す。あとは行動に移っていくだけ。それは私がEATで学んだ財産である。これからも、EATで出会った方々と定期的に情報交換し、日本への理解を深めていきたい。日本の良さや秘めている能力を世の中に認識させていく。

EAT 株式会社人財アジア
〒100-0005 東京都 千代田区丸の内 1-8-3 丸の内トラストタワー本館 20階
［TEL］03-6300-6460　［Mail］info@eat-star.asia

特別寄稿およびWhat' s up?　に掲載して下さる方を募集しています。ご希望の方は事務局までお問合わせのほど、お願い致します。